三日夕刊

磐城毎日新聞

□本紙一ヶ月 金六十錢
□郵税 金十五錢
□一部賣 金三錢
□廣告料一行 金六十錢
□雜報欄 金九十錢
□場所指定一行 金一圓增
□電話（平）七八六番
□振替口座東京一〇八・五六五
福島縣平市田町十六番地
發行所 磐城毎日新聞社
發行編輯兼印刷人 森合英

戰爭だからといつて人情に變りがあらう筈はなし、道德に變化のあらう筈もないのである　（東日）

閼伽井嵐

磐城魂

指導的建設的たれ

諸橋元三郎

會津の人を一人私の店で使用した事があるが、彼は決して自分の主張をまげぬ、飽く迄も頑張る。悪くいへば妥協性がない。併し會津魂といふのはねばり強く自個の主義方針を貫く所にある。翻つて我が磐城人を見るに好くいへば無色透明で妥協的であるがその反面個性がなく精神力迫力がないとふ缺點を持つてゐる。私は何々魂といふのは一種の地方的の性癖であり個性であると思ふ。

◇

何故磐城地方に他地方のやうに何々魂といふやうなはつきりした精神が生れなかつたかといへば矢張藩主の國替が頻繁で、小藩が分立し入り混んでゐた結果であると思ふ。相馬の如きは千年も續いてゐる。平藩主には何處から來て何處へ行つたか一般の人にはわからんやうなお方さへある。

◇

要するに磐城魂とは磐城地方に存在する傳統の精神であつて、前に述べたやうな原因から當地方には明確な磐城精神といふやうなものが不幸にして發達成長しなかつたのである。

然らば我々は我々の子弟にいかなる指導精神を以て臨むべきか？この國家の非常時を乘り切るためには日本精神に檢討を加へて新日本魂の再建を叫ばれてゐる。我々はこの國家の大目的に合致するやうに磐城精神といふものを作り上げて行かなければならぬ。從來のやうに他人の仕事にけちをつけてみるやうな態度を捨て大乘的に人の美をなさしめるやうな指導的建設的の精神を注入することが磐城魂運動の一つの仕事ではないだらうか。

民間療法と藥草

野崎順

はくか（薄荷）

（藥効）鎭痛、矯味、矯臭藥として醫療に供されるが大部分は製藥原料として使用されてゐる。薄荷の主成分は（メントール（薄荷腦）メントン等である。（產地）本種は本邦特產の多年生草本で山野に普通自生するも、北海道、廣島、岡山等では盛んに栽培されてゐる因に本邦輸出藥品中主要なるものにして年產額約四百六十五萬七千圓に及ぶ。

（採集）夏季の候開花を催せる頃晴天の日を選び、莖葉を刈り取り陰乾とする。

（製法）陰乾にせる莖葉を水蒸氣と共に蒸餾すると二、三％位の取卸薄荷を得られる取り卸薄荷より薄荷腦、薄荷油を製し、殘液が即ち市販の薄荷水である、薄荷腦を精製するには取卸薄荷を華氏四十五度以下に冷却すると薄荷腦は結晶する、これを集め製する。

はこべ（繁縷）

（藥効）本種は古來盲腸炎に特効藥として重用せられた藥草で其の他胃腸病、子宮病、脚氣泌尿劑等に用ひられる（產地）原野路傍に普通（採集）開花し始めた頃刈取り陽陰乾とする。

はますげ（漢藥名、香附子）

（藥効）根部の塊根は約一％の揮發油を含有し婦人の通經及鎭痙藥として用ひらる（月經不順等には本藥を一日二三匁位を煎用いたします、小生調劑の調血藥王湯には主劑として使用してあります）

（產地）海濱の砂地に自生する多年生草木でこの地方には小名濱以北には見られない（性狀）かやつり草科に屬する宿根草で深綠色の葉を叢生し、七八月頃三角柱狀の花莖を出し濃茶褐色の花を開く（採集）十一月頃地下莖の塊根を堀り取り天日で乾燥し石臼で搗き外皮を除き製す。

ばいけいさう（東需草）

（藥効）本種は本草綱目中に説明する「リロ」の類で根を農作物の害虫驅除に又疥癬に用ひてよく効く（產地）深山の稍陰濕地、この地方では川前桶賣等の深山、「もりあをかへる」で有名な平伏沼等には普通である（性狀）百合科に屬する宿根草で草丈二三尺となり葉は鈴蘭の大きなもの▲様なり。六月頃莖の上部に綠白色の花を開く（採集）八九月頃莖葉の枯死せる時根を堀り取り陽乾とする。

はらん（葉蘭）

本種は支那の原產で普通庭園に栽培され又生花に使用されてゐる。（藥効）根莖は肺病、咳淋病等に用ゐられる。（採集）十一月頃根を堀り水洗して陽乾となす

はゝこ（鼠麴草）

本種は菊科に屬する春の七草の一種で別名おぎやうと稱し普く知られ、三月節句餅に交へ搗き食せらる。（藥効）痰を去るに用ひらる、（採集）蕾の頃莖葉を摘み陰乾とする。

彌榮村訪問記

大連市　小野傳　（五）

教育機關として去る昭和九年十一月十四日彌榮小學校が開設され當時入學兒童僅に六名なりしが現在は九十三名に及び教員も五名となり複式教授が行はれて居る。

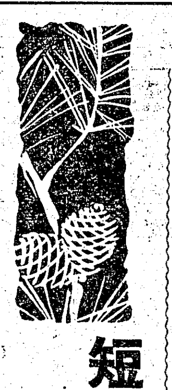
國民學校所在地に遠い部落より通學する兒童のため寄宿舍の設備もあり、筆者等が訪問の折は寄宿兒童が先生が居られなくても營々として勤勞作用をして居るのを見て考へさせられるものが深かつたこの彌榮の地で生れた子がこの四月國民學校に入學すると云ふので父兄は勿論各方面に喜悅の色が漲つて居た。

各部落とも目下春蒔の準備に忙しくモンペ姿や滿人服と云ふ裝で遙か故鄕を離れ幾多不便や危險を克服して國策の聖業に營々と邁進される姿を現實に見せられた時、自分達は夢にも不平等云ふ可きでなく一段と職域奉公に拍車をかけなければならぬと痛感させられるのであつた。

案內の小川氏の談によると彌榮開拓團も今や苦難時代を過ごし、經濟的にも年々余剩が出來、治安が確立され各拓士はいづれも將來に希望を持ち愉快に營農してゐる由を聞いて賴母しく感じたことであつた。

各部落一巡に三時間を要し、小川氏に案內の勞を謝し彌榮村の彌榮を祈りつゝ佳木斯に向ふべく再び彌榮驛についたのは午後の二時頃で改札口には早や旅行者が一列をなしてゐた。（完）

短歌



綱渡り

不定律短歌　馬目智夫

何處まで行くのか電信柱を綱渡りする俺がゐる

尾をふまれ闇に閃めいた犬其の聲を快く思ふ程あはれな俺

誰にも負けまいと思ふ山を下る歩みが早い

なぞりがき太くなつた諦の一字しろ〴〵一本の道を歩く

湯上りの頰　紅潮の字に頷き淋しく別れた女を思ふ

異説赤穂浪士 (212)

桃川若燕

（畵）城木香

義士の期晟

荒川十太夫といふ者が堀部安兵衛と不破數右衛門の介錯、又加藤三右衛門が菅谷半之亟と岡野金右衛門を斬り大島半平と云ふ人物が中村勘助と貝賀彌左衛門の介錯をした、大高源吾の介錯をしたのは宮原久太夫といふ人物でこれは木村岡右衛門の介錯もした。

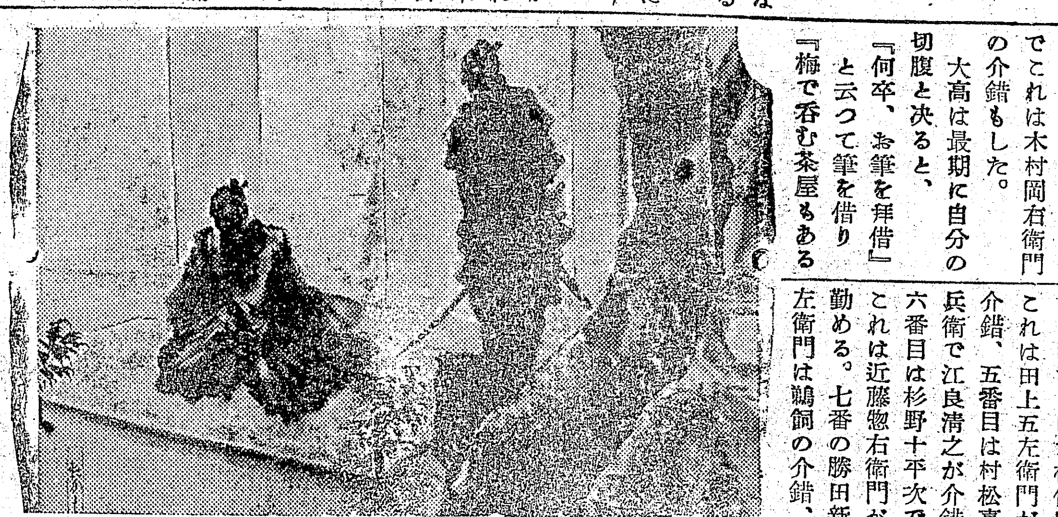
大高は最期に自分の切腹と決ると、

『何卒、お筆を拜借』

と云つて筆を借り

『梅で呑む茶屋もあるべし死出の山』

と一首を殘した。



毛利家の十人は久松家と同じく十人の義士に對して五人の介錯人第一番が岡島八十右衛門で近藤爲右衛門が介錯、二地目は吉田次右衛門で鵜飼惣右衛門が介錯、三番目は武林唯七で榊正右衛門が介錯武林が脇差を取つて腹に當てると正右衛門が

『エイツ』

と聲をかけ一刀振り下したが、手許が狂つてか、頸の半分まで斬り込んだ。それ故端然と座つてゐた武林も前へドツト倒れた。しかし武林は名に負ふ勇士痛手に屈せず再び身を起し座に直ると、

『何卒お靜かにお討ち下さい』

と云つたので正右衛門も氣丈な武士、

『承はる……』

と答へて再び太刀を取り上段に振り冠つて『エイツ』と打ち下し首尾よく首を落した。並ゐる檢使も武林の豪膽には舌を卷いて驚いた。四番目は倉橋傳助これは田上五左衛門が介錯、五番目は村松喜兵衛で江良清之が介錯六番目は杉野十平次でこれは近藤惣右衛門が勤める。七番の勝田新左衛門は鵜飼の介錯、八番は前原伊助で武林と同じく榊正右衛門が介しやくした、九番は小野寺幸右衛門で江良の介しやく十番が間新六で田上の介しやく、これで十人の切腹も終つた。

又水野の屋敷では九人の義士に九人の介しやく人を選び、一番は間十次郎で青山武助が介しやく、二番は奧田貞右衛門で介しやくは横山世右衛門三番矢頭右衛門七で杉源助、四番は村松三太夫で廣瀬半藏、五番は間瀬孫九郎で小池權八郎、六番が茅野和助で佐賀又之助七番が横川勘平で淸水宗藏、八番が神崎與五郎で田口安右衛門、九番は三村次郎右衛門で脇佐多一郎が介しやくした。

これで四家共に豫て亡き後は泉岳寺へ葬つて貰ひたいと云ひ殘されてあるので、その夜のうちに棺を駕に乘せ泉岳寺に送る。泉岳寺では本堂に四十六の棺を並べて大讀經大引導の後に內匠頭の御墓所の南に當る小高いところに、地面を三尺宛堀り、それへ埋め、更に翌日細川家から金五十兩、久松家から銀五十枚、毛利家から銀二十枚、水野家から銀二十枚、何れも義士の法事料として泉岳寺に納め二日置いた二月七日四十六人の石碑を細川、久松、毛利、水野の四家で建立した。北から南に向つて、忠誠院殿刄空淨劍居士大石內藏之助良雄、刄中老劍信士吉田忠左衛門兼亮、刄峰毛劍信士原惣右衛門元辰、刄勘要劍信士片岡源吾右衛門高房、刄擧道劍信士間瀨久太夫正明、刄以串劍信士小野寺十內秀和、刄泉如劍信士間喜兵衛光定、刄周兆劍信士磯貝十郎左衛門正久、刄毛知劍信士堀部彌兵衛丸金、刄隨露劍信士近松勘六行重、刄勇松劍信士富の森助右衛門正因、東方から西に向つては刄腮空劍信士潮田又之亟高教、刄破了劍信士早水藤左衛門滿堯、刄廣忠劍信士赤垣源藏重賢刄察周劍信士奧田孫太夫重盛、刄法參劍信士矢田五郎左衛門則武、刄寬德劍信士大石瀨左衛門信淸。

おでん
平市新田町
電話三三番

小名濱唯一の
味の店
おでん
小料理
御會食御商談に
御利用を……
味の店 寶來

良品選んで廉價販賣
パイロット萬年筆
¥2.00以上
御入學に。御祝に……
進物ケース呈上
平市公園前 角忠 佐々木商店
電話二三三番

ヒシ印
火ツキ良ク火持ノ長イ
煉炭
ドウゾ御用命願ヒマス
平市驛前 阿部石炭商店
電三七・一三七番

漢方 貼り藥
濕布で名藥
生公華
……肋膜、氣管支、肺炎、ロイマチス、ぢ疾に
神經痛、扁桃腺
二圓五十錢 四圓 八圓
平市五丁目角
專賣店 山野邊藥局

鳩尾加壓器
みぞおちかあつき
一、胃腸は丈夫に動脈硬化が柔ぐ
一、鳩尾を落すことは千古を貫く保健の秘訣です
一、使つた其日からこれは効くぞと判るのが特徴です
製造頒布元…東京林健體本部
頒布所 平市古鍛冶町一〇
阿康藥局
電話四四番

酒
[illegible]

男女助手
徒弟募集
（委細面談）
理髮タイヨー
小名濱町登記所前

外科專門
野村外科
小名濱町古港
元津村屋跡
手術室完備

▲男女車掌募集
平市四丁目
鈴木自動車部
電話二一七番

外科 整形 胃腸 性病
內臟外科 腦脊髓病科 外科
整形外科 レントゲン科 理學療法科
內科 胃腸病科 肛門病科
花柳病科 皮膚病科 泌尿器科
醫學博士 松村亨
醫學得業士 松村鐵郎
平市南町 松村醫院 電一〇七

故障の起らぬ
原口のラヂオ
原口無線電機株式會社製品は商工省選定一級品
MD－8號 微電界級 ㊜¥.73·70
ダイナミツク使用眞空管マツダ 12F 47B 57 58
MS－100號 微電界級 ㊜¥.52·60
ラヂオは全部公定價格品です
ラヂオとデンキの店
古山電氣商會
平市二丁目警察署通り（電呼166）

產婦人科
外科一般
花柳病科
小名濱町小學校前
黑澤醫院 電四五
醫學士 黑澤廣
【見習看護婦募集】

割烹
はまや
小名濱公園內
電話百廿番

フタ八齒科醫院

高級
林檎酒
ミユキ
釀造元 青森縣弘前市 株式會社 御幸商會
福島茨城販賣元 石井德重商店
久ノ濱町 電話三番

大黑屋かんばし

今年の夏帽子

カンカン帽を見て夏が來たな…と思ふ、カンカン帽はなんと云つても夏帽の王者である、今年はカンカンも壹圓位から四圓位で

四ビシは（荒目の物）內地產だから相當まに合ふ、支那ムギは支那から入らないから少ない、中年の方には支那ムギも上品でよい、そして割合に四ビシより赤くならない。パナマも紙製で二圓位から六、七圓位まで本パナマ代用のヤシのシャンイから出來たマーシヤル・リントパナマは洗濯もきくし本パナマと總ての點で見おとりがない、六圓代から最高二十圓までで

最近出初めたヤング帽は色々な色と編方があり輕快で若向きには大變よろしい、値段も一圓代から三圓位で紙製のパナマと同じく紙を材料にして其の上にセルロイド加工をしてあるから少々の雨には耐るパナマもヤングも雨にあたつた時良く乾かしブラシでホコリを落し常に箱に入れて置く事が必要一寸した注意が一年でダメの物が二年使用出來る、此の手入は主婦の役目、洗濯の出來ない紙のパナマヤングは消ゴムのヤワラかい物でおとすと洗濯した位にキレイになる一寸したよごれは消ゴムで充分其費用一錢位

國民擧つて防火塗裝を！
回危險に曝露する木造家屋
回手輕るに出來る防火家屋
回コロイド防火塗料の特長
專賣特許 太陽無機コロイド販賣店
カタログ進呈
山田文一商店
平市仲町通り 電話二六二番地
大量使用の御注文並團体的御申込へは實驗の御希望に應じます

女車掌募集
未經驗者を希む
【經驗者も可・本人御來談乞ふ】
三井自動車商會
平市二丁目 電話685番

護れ・吾等の空

平警防團が空襲時に備へ

簡易で完全な防空壕

平警防團では市民の防空思想普及を圖る目的の下に愛國防空施設促進會の製作になる『愛國式防空壕』二個購入近日中に入荷する筈で市役所構内及警察署構内に設置して市民の參考に供することになつた

特質＝この防空壕は圓筒のやうな既設品で、一個は奥行八尺、直經六尺（高さ）椅子席の定員十五名であるが中央に立つと樂に三十名は收容出來る價格三百五十圓、今一個のは奥行六尺、高五尺五寸椅子席八人で立つ場合約十五名收容出來て價格二百三圓、兩方とも防水裝置があり

利用價値＝最も優れた點は形が小さいからどんな狹隘な土地でも容易に施設が出來、半分位土に埋め、堀上げた土塊をその上へのせるだけで完全である、埋めるのが地下であるから容積をとらず常時物置きとして使用しても價格だけの役目は充分に果す

空襲時＝は中へ蓄電池でも入れて置くと換氣の設備が充分にしてあるから何時間でも中に入つてゐられる

慘禍を避けるに

簡易な小規模防空壕が理想

警防委員　大谷武雄氏談

別項、愛國防空壕を買つて來た警防委員大谷武雄氏は空襲と防空壕について語る

軍當局や内務省などの防空壕に對する指導方針は、大きい穴を堀つて澤山人を收容することは、直擊彈など受けた場合被害が多いから努めて小さいものを幾つも數多く作れと云ふことになつてゐる、小防空壕は勿論爆風や爆發の際飛散する破片等から免れることが主なる目的で、この點圓形を爲してゐる愛國防空壕が壓力を防ぎ最も理想的とされ、現に東部防空司令部なども設置してゐる、効能は實物を見るとすぐ判るが常時物置に用ひても相當効果を擧げられる、十五、六日頃入荷すると思ふが、實物を參考に見た上で隣組が三、四軒宛共同で作つたら有事に際しても安心出來ると思ふ、この點切にお奬めする

前線慰問通信

☆★★☆★【10】☆★☆★☆★

白衣の天使も元氣

鄕土兵に遇ふ

漢水のほとりにて

縣議　木村守江氏

漢口には高木秋次郎君（久濱出身）と片寄忠衛君（大浦村出身）とがゐるので私達の漢口行きを心から歡迎してくれた、高木君は海軍特務部に勤務してゐるので早くから宿に來て種々世話をしてくれ片寄君は日産自動車に勤務してゐる關係上仕事の終つた七時頃から夜中の十二時頃迄話し合つた、君は昭和十二年八月事變勃發と共に召集となりそのまゝ一昨年來現地除隊して産業第一線戰士として活動してゐる、大變によろこんでくれた、次から次と話は盡きなかつた

平町一丁目、常盤時計店主次男杉本君も現地除隊して今はこの地に働いてゐる、

五月十日朝から曇りであまり良い空模樣でない。世界で最も暑い所の一つである漢口と聞いて來たが昨今は南京よりも涼しい位で浴衣の中に夏シャツを着る程に涼しい。然し薄暗い支那の家には晝間から蚊がゐる、蚊取線香を燻しながら書物をする、自動車の都合で宜昌行きが明日となつたといふので漢口附近の部隊を慰問することになつた。自動車屋の話であるが漢口から宜昌迄は直通約百里であるがトラック一台の料金貳千圓也といふことで從つて宜昌の物價の高いことは想像出來るとのことである、宜昌の第一線部隊への慰問品として何かと思つて町を歩きあまり荷物にならぬものと思つて煙草を買ふ。何しろこれ程自動車の便が惡いので吾々の宜昌行も一日遲れたわけである。

午前九時頃日産のダツトサンを片寄君の好意により借りて先づ宿より一里半程離れた太田部隊に行く、こゝは日本人租界の西端にあり〇〇編成の部隊なりし爲め福島縣出身の兵隊が澤山ゐる、特に前線より戰傷を負うて療養されてゐる人や平町に開業してゐた鈴木喜平先生などがゐた、濱通り出身の人をあげれば次の如くである

鈴木喜平見習士官（平市）荒井行夫見習士官（中村町）佐藤進（赤井村）鈴木一（高久村）鹿野タツヨ（湯本町）猪狩八重子（磐崎村）鈴木マサ子（内郷村）小泉ミサヲ（玉川村）後藤義信（小高町）鈴木義男（綴）安島大吉（田人村）秋元善男（川内村）菅原惟（大堀村）坂本博（大久村）高玉四郎（中村町）佐々木桂一（湯本町）篠田正（貝泊村）鈴木仲江（龍田村）永山仁一（三坂村）片寄マサエ（大浦村）坂本松夫（平市）

等であつた、以上何れも極めて元氣で或は軍務に精勵し或は白衣の天使として戰傷病兵を心から看護し或は戰場の傷病を療養してゐた色々な縣内の事情を述べて銃後の狀況を報告し又兵隊諸君からは種々なる希望を聽いて約二時間半の後記念撮影をしてこゝより歸つて齊藤勇隊に立寄つた。

こゝには植田町高木芳男少尉が本部に頑張つており郡出身者が十五六名おるとのことであるが生憎演習に出かけて面會出來なかつたので宜昌よりの歸途再會することを高木少尉に依頼して歸る、夜半大浦村出身の酒井鶴吉上等兵があまりに突然なので驚ろいたといひながら宿に來てくれる次に田村部隊を難民街の南端に訪ね

佐藤仙一（好間村）小野好雄（好間）松本正雄（内郷）小高儀平（小高）波多野忠男（浪江町）

等を慰問し次に約二里程の地に鈴木部隊を訪ね

熊田昌吉（湯本）三瓶岩男（泉村）根本一郎（内郷）北郷嘉弘（勿來）

君等に面會し慰問の後夕刻宿に歸れば内山部隊より聯絡あり明朝七時半宜昌出發とのことにて兵隊にたのまれた手紙を書き高木少尉、酒井上等兵、高木秋次郎君、片寄忠衛君等と會談の後十二時就床す

四倉漁港の修築

竣功後百五十トン大型船入港

本年工費五万二千圓

四倉漁港第二期修築工事は防波堤及護岸工事は殆んど完了、本年度は、前年度繰越二萬二千圓、本年度工事三萬圓、計五萬二千圓で港内の浚渫を行ふことになり既に着工豫定通り工を進め年度内には竣功する豫定である同港は船溜一萬九千坪、大型漁船時代に備へて干潮面水深三米とした爲凪の際は百五十トン級の大型遠洋漁船が堂々と護岸に横付られ、時化の際も七十トン位の船は樂々に碇泊出來る

この第二期工事が完成すると兩船溜を合せ五十トン級の漁船が八十艘も一時に入港出來るので漁港としての價値を高め水揚數量も激增するものと期待されてゐる

部門を設けて

文協の活動

來月上旬藝能祭計画

磐城文化協會臨時委員會は昨二日夜八時から本社編輯室に開催、今後の活動方針その他に就いて協議した

一、今後の活動を便ならしめるために各部門を設けることとしてその部署を次の通り發表した

△學藝部（五十嵐、渡邊、諸橋）

△藝能部（増田、高瀬、梅原）

△郷土文化部（高木誠、松村、高木）

△体錬部（野澤、中野）

△教化部（柴田、中柴、新妻、花澤）

二、來月上旬「藝能祭」を擧行することとし増田委員が主任としてこれが計畫にあたること

三、大政翼贊會文化部の照會事項に對する回答の内容

四、六月中『山村暮鳥の夕』を開催の件

五、會員募集の件

内務省の監査官

小名、炭礦視察

内務屬西尾氏外三名は本縣廳監査の途四市及び常磐炭田、小名濱港視察の爲左の日程で來郡する

△四日、小名濱港視察△五日、炭坑視察

ミシン十台入荷し

授産場增員

作業も擴張中年者歡迎

作業場を增築した平授産場ではその後ミシンの到着を待つて事業の擴張を圖つてゐたが五月分ミシン十台が今三日入荷の豫定にあり、また事業の擴張に伴ひ今度約二十名增員することに成つた

仕事は襟章付け作業ミシン、仕上げ、○○紙管作業で何れも若干名を增員するがミシンを除く襟章付作業、仕上作業、○○紙管作業は三十歲から四十歲位迄のお母さん方を希望してゐる

四倉町の青壯年隊

七月七日結成式

四倉町青壯年隊結成式は二日の協議會で七月七日午前九時より鎮守諏訪神社々前で擧行することに決定隊長以下各役員は近々中決定する

港灣協會

商港修築補助建議

本年の港灣協會總會は六月十五日午前九時より丸の内帝國鐵道協會に開催するが、建議案壹百五十二件内小名濱町では〃小名濱港修築費國庫補助方を政府に建議する件を提出しに工事を同會に陳情することに成り近く代表者上京猛運動を試みることになつた

平署異動

三十一日附で發表になつた巡査部長、巡査級の異動に伴ひ平署では二日署内の巡査を次の如く異動發表した（括孤内は舊任地）

神谷村駐在（本署）巡査　笠原喜八郎

永戸村駐在（本署）巡査　星　登田

本署第四區（第五區）巡査　菊地　博

磐女庭球部

關東大會で善戰

東京女高師主催關東女子中等校庭球大會は去る一日同女高師コートに擧行、磐城高女から木崎先生引率して四年生吉田トシ子、石井芳子兩選手出場、關東府縣から選ばれた六十余チームと熱戰、左の成績で四回戰まで斷然敵を退け、準決勝戰で惜しくも府立一女に4―3で敗れたが、試驗期にかゝり練習不足に拘らず敢闘し準決勝まで進み磐城高女庭球部のため大いに氣を吐いた

◇一回戰　磐女4―3小田原

◇二回戰　磐女4―1神女師

◇三回戰　磐女4―1府十一

◇四回戰　磐女4―1熊谷

◇準決勝　磐女3―4府立一

江名築港

第二期運動起す

港灣協會副會長法學博士松波仁一郎氏は既報の如く一日江名漁港を視察したが地元江名町ではこの機會に第二期

五ケ年計画で

めん羊增産

平市が百頭目標に飼育

平市では五ケ年計畫で緬羊百頭計畫を樹て昨年は牝六頭購入して平窪の農家へ無償貸付けを行つたが、今年は牝十頭購入し縣から牡の借入れを行つて無償貸付けし、明年度から貸した緬羊から仔緬羊を返させ一方購入する數も毎年增加して第一次計劃の五年後には百頭とし緬羊平市を建設することになつた

緬羊は特別飼料を購入する必要なく草を與へるだけで充分育つから飼育法も簡單で管理は子供も出來るから農家の副業として歡迎されてゐる

第一回の飼育緬羊は脫毛した處成績頗る良好で一頭分十圓位に當つてゐる

徳江巡査

四倉警察署特高係巡査徳江源四郎氏は小野新町署に轉任明四日午前十時二十分發の列車で赴任する

岩崎社長

四倉工業所視察

磐城セメント岩崎社長は今三日田村郡神俣村の龍根澤石灰山を視察し海氣館一泊明四日四倉工業所を視察する

農繁期で

窓口閑散

指導所もあくび

平國民職業指導所五月中の窓口受付は約二十五件であつた、これは例月の約三分の一で農繁期が逼迫した關係に依るが現在は殆んど窓口に相談に來るものなく指導所の係員は閑散顏である

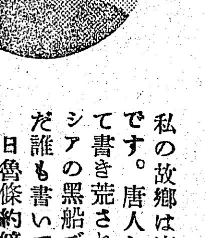
次の時代小說豫告

異人劍法

車谷　弘作

下山望東画

本紙連載中の小說『赤穗浪士』は好評裡に近日終りを告げるので、引續き車谷弘氏の力作『異人劍法』を連載することにいたしました。仝氏は東都大衆讀物界に盛名を馳する新進花形作家で、その變化ある構想と絢爛たる筆致は大家の域を摩すものがあります、殊に氏は伊豆下田の産なるが故黒船來に關する史實と文獻については、豐富な材料を擁しをり、蓋し當時を背景とする『異人劍法』の筆者として眞に適所といへよう。下山望東畫伯は挿畫界の大先輩たる井川洗厓畫伯の薰陶を受け才氣縱横の書風は絶讃を博することゝ信じます。



作者の言葉

車谷　弘

私の故郷は唐人お吉で有名な伊豆下田港です。唐人お吉はもう多くの作家によつて書き荒されてしまつた感があるが、ロシアの黒船ヂアーナ號にまつはる話はまだ誰も書いてゐない。

日魯條約締結前後の下田歷史を調べるとまだ幾多の大衆文藝の材料が礦脈のやうに埋れてゐるが、私はその礦脈を堀りあてようとするのではない。私はたゞ私の貧弱な空想力をたのみにしてその時代の雰圍氣の中に私の持つてゐる故郷の夢を書きたいのです。

篤學の木幡教諭

『東洋倫理學』の著書執筆

平市内藤田女學校教師木幡林助氏は縣師範學校卒業後各地小學校訓導校長等に歷任、その間文部省中等教員修身科教育科の檢定に合格した篤學の士で、嘗て「系統的倫理學」を東京培風館より「新選實用教育學」を健文社より出版したが、老來益々元氣旺盛硯筆に親み目下『東洋倫理學』の著書を世に出すべく鋭意執筆中の由で、その研學の意氣には壯青年學徒を立たしめるものがある

農繁期休校

四倉國民校決定

四倉國民學校の農繁休業は左の如く決定

△初等科四年以上、十六日より二十九日まで

△初等科三學年以下二十日より二十九日まで

立澤所長

少年戰士激勵

平國民職業指導所長立澤高元氏は今三日小名濱町日本水素工場視察し豫て斡旋した本春就職の少年産業戰士二十余人に對し激勵の講演を爲した

霜害關係除き

春蠶順調に掃立終る

平蠶業取締所管内の春蠶掃立はこの程全部終了、平坦部は四眠中で早いものは五齡四日である一方山間部地方は目下二齡で共に蠶作は極めて良好でありこの分で行くと三、四日中には上簇を開始出來るが過般の霜害で減收を見た個所以外は順調に進んでゐる

四倉の兒童

病院慰問

引率者正式決る

四倉國民學校初等科六學年生百九十余名は仙台陸軍病院に白衣の勇士慰問のため十五日出發するが引卒者は鈴木校長外小林、酒井、鈴木（美）鈴木（政）の四訓導外額賀校醫、坂本學校看護婦等も附添ひして行く

磐城訓盲院

第三回運動會

磐城訓盲院の第三回運動會は十五日午前九時から平第一國民學校々庭に開くことに決定した

双中生徒

四倉で勤勞奉仕

双葉中學校では食料增産勤勞奉仕の爲濱三郡へ同校生を分擔して奉仕作業を行なふが同校生白土四郎君外八名は吉田教諭指導のもとに今三日より七日まで五日間四倉町内出征兵家庭並に勞力不足の家庭に勤勞奉仕作業を行なふため來町した

有村少將

各校の教練視察

仙台部隊附有村少將は今三日正午平驛着の列車で來平、明四日は市内國民學校及鐵工組合の教練狀況を視察、五日は午前中磐中、午後平商の教練を視察することになつてゐる

平青果組合

野菜値段

一部變更發表

平市青果組合では先に蔬菜果實小賣協定最高價格を發表したがうち新ものゝ出廻りで六月一日より變更になつた蔬菜のお値段は次の通りである（括孤内は六月までの値段、單位百匁）

△玉葱（八錢）六錢△人參（五錢）七錢△牛蒡（六錢）八錢△里芋（六錢）十錢△玉菜（四錢五厘）三錢五厘△莢豌豆（二十五錢）十錢△菜豆（二十錢）十錢△ニラ（二十錢）十錢

野薊句會

場所變更

野薊第三回句會は來る五日午後七時より田町さかき家に於て行ふ豫定の所都合により左記場所に變更した、同好者各位多數御出席を希望してゐるが出題は次の如し

（出題）新樹、羽拔鳥、卯の花腐し、（通じて五句）

（場所）平市舊城跡聚樂園

柳町四軒町

隣組員に

榮養・保健指導

平市では來る七日午後七時より九品寺に十六區（柳町、四軒町）十七區（仲間町、鷹匠町番匠町）の隣組員を集め平保健所より青沼所長、成田、田口、蛯原各榮養手を招聘して傳染病並に榮養に關する講演會を開くことになつた

日素煙毒

實害調査し補償

日素工場では煙毒の爲め被害を與へた周圍の農作物に對し今三日郡農會高田技手の出張を仰ぎ調査を遂げ農家に補償すべき損害を決定する

景氣の良い

拾得物

落主は誰れ？

去る三十日平市内道路でミゼツト型（ポケツト型）寫眞機一個が落ちてあるのを通行人が發見

また三十一日には小名濱町定西局員鹽田七郎君が同町地内で十圓札二枚を拾ひ何れも平署へ届出たが未だ落主が判らず同署でも困つてゐる

井戸へ投身

精神病者自殺

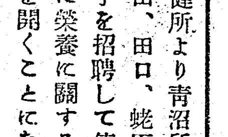
石城郡高久村大字上山口字古保内農國井信太郎（五八）は一日午後八時頃自宅古井戸へ投身自殺した、原因精神異狀から

お尋ね者

追跡逮捕

四倉警察署では一昨一日午後五時頃原田地内を徘徊する擧動不審の男を引致せんとした處逃走を企てたので追跡し大浦村地内海岸松林内で逮捕、取調の結果本籍宮城縣宮城郡利府村生れ目下住所不定無職小林伊四郎（三三）で宮城縣下で窃盜を働いて逃走中の宮城縣警察部御尋ね者であることが判明今三日仙台警察署員に引渡した

商況



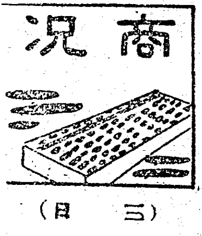
（三日）

【野菜】	高	安
筍	一四〇	一一〇
大根	三三	二五
ホレン草	四五	
カブ	三三	一五
玉菜	一八	
葉玉葱	三〇	
サヤ豆	九〇	
【鮮魚】		
鮪	四五、〇	
平目	五四、〇	
アジ	二〇、〇	
スズキ	六三、〇	
ヤリイカ	一九、〇	
サバ	一四、四	
イワシ	五、八	
貝燒	一個三十五錢	

【訂正】二日附本紙二面記事中『病苦から井戸で自殺』と題しセメント職工安田義嘉さんとあるは林義嘉さんの誤りに付訂正す

平市慶弔錄

【婚姻】平市字白銀町三番地佐藤とみ子（二四）さんと仙台市北目町八二番地佐藤久雄（二四）さん



舊五月十日　新六月四日　水曜　癸未　友引　滿　壁宿

▲一白　災禍荐りに至りて處置に窮す焦れば更に凶

▲二黑　不利の立場となりても責任を盡すに努めよ

▲三碧　泥田に陷み入りて自由を失ふが如き危險日

▲四綠　因循姑息に陷りて物事捗らざること多き日

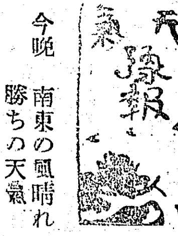
▲五黃　衆を指揮する地位に在るも溫柔を旨とせよ

▲六白　人心和同し業務榮え發達を遂ぐる幸運の日

▲七赤　和氣一家に滿ちて名利を得益々向上する日

▲八白　氣運平らかなるに安んじ無理をせば傾かん

▲九紫　希望に燃え邁進努力して功果頗る大なる日



今晩　南東の風晴れ勝ちの天氣

明日　南東の風晴れ後次第に曇ります

（六月四日）

滿潮　前一一、〇五　後……

干潮　前五、一五　後六、三五

鄕土史講演

期日　四日午后正七時

場所　福島無盡樓上

（入場無料、一般聽觀迎）

『我郷土觀』……鈴木光四郎氏

鈴木氏は平市出身、磐城高女の教諭で磐城の郷土史に造詣深き篤學の研究家である。『我郷土觀』に於て必ずや磐城の指導精神に暗示を與へられることを確信する

主催　磐城文化協會

文選女工見習募集

高卒程度　年齡十五、六才

【希望者ハ本人來社アレ】

磐城毎日新聞社

貸間

二階　十丁、八丁二室

階下　四丁半一室

)(…全市を一眸に收め、風光良く涼風盛夏を忘れしむる健康地…)(

【御希望の方は直接御問合せ下さい】

平市松ケ岡公園第一廓　春木亭

期間　六月一日ヨリ明春三月末日マデ